

# 20 世紀フランス文学の検証

ミレイユ＝カル・グリユベールの文学批評を中心にヌーヴォー・ロマンとその後の系譜を追う



写真: Jérôme Panconi

**11 月 10 日(日) 10:30～17:00**

**立教大学池袋キャンパス D201 教室**

**本学教職員・学生・一般対象**

**午前の部：10 時 30 分～12 時 00 分**

①ヌーヴォー・ロマンの作家たち(マルグリット・デュラス/ミシェル・ビュトール/クロード・シモン)：

河野美奈子 (立教大学)

オリビエ・アムール＝マヤール (国際基督教大学—フランス語発表・日本語翻訳アリ)

上田章子 (四天王寺大学)

エブラール・グリユベール (パリ第 3 ヌーヴェル・ソルボンヌ大学—フランス語発表・日本語翻訳アリ)

**午後の部：13 時 30 分～17 時 00 分**

①13 時 30 分～14 時 20 分：ミレイユ・カル＝グリユベール (パリ第 3 ヌーヴェル・ソルボンヌ大学名誉教授) による基調講演 (フランス語発表・日本語翻訳アリ)

②14 時 30 分～15 時 20 分：ヌーヴォー・ロマン以降：

石川清子 (静岡文化芸術大学)

小川美登里 (筑波大学)

郷原佳以 (東京大学)

③15 時 30 分～16 時 30 分：ヌーヴォー・ロマンと日本における 20 世紀フランス文学の需要と翻訳

福島亮大 (立教大学)

石橋正孝 (立教大学)

澤田直 (立教大学)

④16 時 30 分～17 時 00 分：総括、閉会の辞

総合司会：関未玲 (立教大学)

入場無料/事前予約不要/問い合わせ先：関 未玲(sekimirei@rikkyo.ac.jp)